



# ふくしまHOPEニュース

〒963-8862 福島県郡山市菜根3丁目14-3 ☎080-4109-8672 (事務局)

郵便振替口座【記号番号】02270-0-127272 【加入者名】福島県キリスト教子ども保養プロジェクト

ゆうちょ銀行【口座記号番号】18150-32195191【口座名称】フクシマケンキリストキョウコドモホヨウプロジェクト

【Mail】office@fukushimahoepoject.com 【HP】[www.fukushimahoepoject.com](http://www.fukushimahoepoject.com)

## 震災後七年間の春夏秋冬

ふくしま HOPE プロジェクト 代表 木田恵嗣



郡山市を訪問したフィリップ・ヤンシーという米国の有名なクリスチャン・ジャーナリストの講演を聞きました。痛みや苦しみというテーマを追求して来た彼は、苦しみの四側面を春夏秋冬にたとえて語りました。とても示唆に富んだ講演でした。彼にならって、私も震災後七年間の福島を、春夏秋冬というキーワードで振り返ってみたいと思います。

<冬>2011年3月11日(金)午後2時46分、経験した事のない大きな地震が起きました。地震直後の雪交じりの冷たい風が印象的でした。その後の一年余り、福島は寒い冬に閉じ込められたような時間を過ごしました。津波被害を受けた浜通りは、地震/津波/原発事故と、三重の悩みを経験しました。津波で流され、助けを求めている人たちがいるのに、避難命令が出たために、捜索を中止せざるを得なかった方々の悲痛な叫びに、胸が締め付けられました。中通り地方に住む私たちは、直接津波の被害を受けませんでしたので、自分たちが被災者なのかどうかもわからず、戸惑っていた時間が長かったように感じます。震災の被害はあるにもかかわらず、放射能に汚染された福島に何が 필요한のか、何が出来るのかが見えず、なかなか支援の手は伸びませんでした。

<春>一年ほどして、福島県への支援が本格化しました。岩手や宮城での支援活動に一区切りがつき、ようやく様子がわかってきた福島の地に支援の手が伸びたという状況でした。私たちの「ふくしま HOPE プロジェクト」が産声を上げたのもこの頃でした。

<夏>福島市内の教会ネットワークからスタートした保養プロジェクトが、多くのキリスト教支援団体の協力によって、福島県レベルのプロジェクトへと成長し、少なくとも、五年は活動を続けようと、「福島県キリスト教子ども保養プロジェクト」(ふくしま HOPE プロジェクト)が始動しました。一年間に7回ほどの短期保養キャンプを五年継続しました。

<秋>震災直後の混乱した状況も落ち着きを見せ、設立当初からのスタッフを交代したり、保養プログラムを見直す必要に迫られ、活動のシフトダウンをしました。秋は実りの季節、また、来たるべき冬に備える時でもあります。本当に大切なものは何かが見えてくるのもこの季節の特徴ではないでしょうか。

震災後七年間の春夏秋冬を振り返り、今、改めて思う事は、保養キャンプの予想外の効能です。放射能の影響を少しでも軽減するという目的で始めましたが、今、子どもたちが保養キャンプに参加する事で成長したという保護者の方々からの嬉しい感想をよく聞きます。この冬の雪遊びスキーキャンプには、高校生が二名参加しました。私も、彼らの成長ぶりを見て、続けてきて本当に良かったと思いました。

最後に、私たちのプロジェクトを引き続きご支援下さるように、お願いを申し上げます。プロジェクトのスリム化、経費の削減、プログラムの見直しを継続的に図ってまいります。それでもなお、皆さまの温かいご支援を仰がねば、活動の継続が困難な状況です。よろしくご支援下さるよう伏してお願い申し上げます。

## 保養キャンプ 報告

### 第35回保養キャンプ in 猪苗代

～雪遊び・スキーキャンプ～

期間： 2018年2月3日(土)～4日(日)

場所： 磐梯青少年交流の家（福島県）

参加者： 35名(保護者10名、子ども25名)



福島県内でも磐梯山周辺は放射能の影響が少ない、自然の中で安心して過ごせる地域の一つです。真っ白に覆われた大自然の中、大人も子供も「スノーシュー（西洋かんじき）」、「歩くスキー」、「ソリ滑り」を楽しみました。スノーシューで林を散策しながら、ウサギやキツネの足跡を見つけたのは嬉しい発見でした！保護者も、子供も、自然の素晴らしさを体験して、楽しい思い出を作ることができたならなによりです。

保護者からは、キャンプの継続を希望する声が多数聞かれました。経済的な必要があり、いつまで活動が続けられるかはわかりませんが、可能な限り福島で生きご家族に寄り添い、応援させていただきたいと願います。



### 保養キャンプ 利用者の声

保養プロジェクトが少なくなっている中、長く活動を続けてくださって本当にありがとうございます。今後も続けていってくださったらありがたいです。

自然で思いっきり楽しんでデトックスしたい。線量は下がってきているが震災前まで戻ってはおらず、今後どうなるのか。

とにかく継続をお願いしたいです。まだまだ、外遊び、食べ物が心配です。

\*\*\*\*\*

## 保養支援ファンド 報告（9月—12月）

ご家族での保養を支援するため、過去にHOPEキャンプに参加したご家庭を対象として、HOPEキャンプへの参加やその他保養のために年2万円の支援（先着30組）を実施しました。

### 保養支援ファンド 利用者の声

「福島では、土いじりなどはまださせていませんが、モンペをかりて畑に入り、収穫体験をさせて頂きました。取りたての野菜はおいしい事を娘に教えることができ本当に良かったです。」

「夏の長崎は、とけてしまう程に暑かったです。福島ではできない川遊びが一番楽しかったそうです。虫捕りをしたり、思いっきり外で遊んだり、真っ白だった子ども達は、真っ黒になりました。」

## HOPE CAFÉ 報告 (11月-12月)

HOPE CAFÉ が三ヶ所 (須賀川めぐみキリスト教会、福島聖書教会、郡山聖書バプテスト教会)で行われました。合計で大人 17 名、子供 19 名が参加しました。大人はコラージュの技法を使いながら、「希望」、「喜び」、「平和」のテーマでクリスマスカードを創作しました。子供達は県外から寄付していただいた自然の素材を使ってクリスマスリースを作りました。



多くの母親は毎日の子育てや仕事の忙しさに追われていて、自分の心を休める時間がほとんどありません。そんな中で、ある参加者は「アート創りに没頭することで元気が出ました！」と経験を分かち合っていました。アートを通して自分を表現し、セルフケアを経験できる時間を続けて提供していきたいです。



HOPE CAFÉ でのアート創りの目的は「素晴らしい芸術作品」を作ることではありません。「アート」と聞くと、どうしてもお店でディスプレイされた商品のように整っていて見栄えの良い物を作りたくなります。その結果、結局みんな同じような作品ができあがり、「上手」か「下手」かの評価だけで終わってしまいます。しかし、HOPE CAFÉ では綺麗な作品を完成させることではなく、創作する過程を一番大切にします。それは、様々な色や素材を使って自分を表現し、アートを創りながら自分を見つめるという過程です。



海外では、「アートの創作」は精神疾患などの療法に用いられるほどに人の健康のために大切なものと認められています。引き続き、みなさんと一緒に楽しみながら、有意義な時を共有できたらと思います。

### HOPE CAFÉ 参加者の声

子供達は子供達で、沢山遊ばせて頂いて、私も集中してカードを作成することができました。普段自分ではできないことなので、楽しかったです。

久しぶりに集中して楽しめたのでストレス解消になりました。構図を考えたり、きれいな紙を見たり色々な面でワクワクしました。

\*\*\*\*\*

### ～スタッフについてのお知らせ～

昨年四月より、HOPE プロジェクトのスタッフとして働いてきた木田友子が、この三月で退職することになりました。一年間のお働きに感謝します！！



一年間、大変お世話になりました。4月から、福島を少し離れ、東京基督教大学（教会教職専攻）で学びの時を持ちます。引き続き、福島のためにお祈りしています。

## ～ふくしま HOPE プロジェクトから大切なお知らせ～

### 1. 募金・献金の振り込み方法

みずほ銀行の口座への献金・ご寄付の振込みが可能になりました。海外からの送金にもご利用いただけます。

### 2. キャンプ参加費の変更

経済的な事情から、キャンプへの参加費を値上げすることになりました。支援活動を継続していくための変更です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 3. 保養支援ファンドの終了

保養ファンドが今年度をもって終了となりました。

\*\*\*\*\*

## 寄付・献金の方法 (ゆうちょ銀行・銀行振込)

### 1. 郵便振替口座

【記号】 18150 【番号】 32195191

【加入者名】 福島県キリスト教子ども保養プロジェクト

※お申し出下されば振込料無料の専用郵便振替用紙をお送りいたします。(事務局電話:080-4109-8672)

### 2. 銀行口座

【銀行名/支店名】 みずほ銀行/郡山支店 【種別】 普通

【口座名義】 福島県キリスト教子ども保養プロジェクト

【口座番号】 1350643

※銀行振込の場合、銀行から届く入金通知は、振込者の個人情報がカタカナ表記の氏名のみの記載となりますので、献金・寄付金領収書等をご希望される場合は、お手数ですが、お申し出下さい。

\*\*\*\*\*

## 会計報告 (2017年8月～12月)

収入の部(円)		支出の部(円)	
個人献金	290,200	活動支援金	123,707
団体献金	588,008	事務費	86,830
その他	1	通信費	59,928
		交通費	13,180
		会議費	4,420
		人件費	1,150,000
		備品費	-
		活動費	-
		その他	5,223
小計	878,209	小計	1,443,288
前期末未納金	1,228,971	今期末残金	663,892
合計	2,107,180	合計	2,107,180

＜団体献金＞ 麻布霞町教会、糸魚川キリスト教会、インマヌエル聖宣神学院キリスト教会、エドモントン日系人キリスト教会、キリスト兄弟団日立教会、国立キリスト教会、神戸教会、郡山キリスト福音教会、相模原・教会ネットワーク災害支援プロジェクト、狭山入間市民クリスマス実行委員会、白百合福音教会教会学校、須賀川めぐみキリスト教会、巣鴨聖泉キリスト教会、世田谷中央教会、高松シオン教会、日本ホーリネス教団横浜教会、練馬バプテスト教会、東須磨教会婦人会、前橋キリスト教会、武庫之荘教会、八街福音キリスト教会、横浜シオンキリスト教会

＜個人献金＞ 相場郁郎、荒木正三、市川和人、宇佐神正武、大橋忍、奥田久良、加藤知子、岸田裕子、小岩井智子、小芝明子、塩津多恵子、高橋まりか、谷井広樹、桐山優子、鶴田典子、匿名、中上敏子、長沢俊夫、西川輝代、原ますみ、原光世、松浦泰樹、三雲隆雄、宮岡千鶴子、本園万子、山口俊郎、山崎林子、山下タカ子、山本純子、余郷明子、横田洋子(順不同、敬称略)

